

眉をあげて



校長室便り 座間市立西中学校
第12(66)号 校長 牧野 淳志
令和5年7月20日発行

白熱の試合！大一番を制す ～男子バスケットボール部～



7月8日(土)は強豪南中戦、3クォーターまで流れをつかめず15点差をつけられる苦しい展開。4クォーターで気合いを入れ直し、ディフェンスを固め、カウンターから得点を重ねます。最後は35-38とあと一步の所まで強敵を追い詰めました。続く相模中戦はメンバー全員が出場し練習の成果を発揮。いつもチームを支えている___君(3年)のオフェンスでの活躍などもあり76-42で大勝を収めました。

7月15日(土)は恩師上原先生のいる栗原中戦。勝ったチームが県央大会出場を決める大一番は、互いに一步も引かぬ熱戦になりました。西中はキャプテン___君(3年)___君(3年)がポイントを重ね、___君(3年)のリバウンド、___君(3年)の粘り強いディフェンス、2年生___君、___君の活躍などでリードします。しかし栗原中も必死でくらくつき、残り40秒の時点で70-70の大接戦。最後は緊迫の中、___君が連続してシュートを決め77-70で見事勝利。すべてを出し切った両チームのプレーや感極まった涙に、会場は感動の拍手に包まれました。座間市の優秀選手に___君・___君、敢闘選手に___君が選出されました。

連続コールドゲームで優勝 ～ソフトボール部～



7月15日(土)の座間中戦は、初回から6点を先行。キャプテン___さん(3年)を中心に声を掛け合い、無失策の堅い守りで投手を支えます。エース___さん(3年)は速球を武器に次々と三振を奪う力投で見事ノーヒットノーランを達成。13-0で5回コールド勝ちを収めました。続く相模中戦は、連戦の隙を突かれ、初回到5点を先制される苦しい展開でしたが、すぐに打線が爆発し逆転。ランニングホームランを放った___さん(2年)の活躍などで、20-5で連続コールド勝ち。次は県央大会制覇、県大会上位進出を目指します。

最後まで、全力プレー ～女子バスケットボール部～



7月15日(土)の相模中戦、今大会で初めてメンバー全員が揃い一丸となって闘いました。チームを支えてきたキャプテン___さんのドライブからのジャンプシュート、___さんのリバウンドからのシュートなど、2人の3年生は、3年間の想いを胸に練習の成果を思い切り発揮しました。1,2年生も___さん(2年)のスリーポイントシュートなどで3年生を支えました。

試合は31-36で惜しくも敗れたものの、大会を通して、どんなに点差があってもあきらめず、プレーヤーもベンチも一つになり全力で闘った西中は本当に素晴らしかったと思います。___さんは座間市の敢闘選手に選出されました。



男子バスケットボール部(栗原中戦)



男子バスケットボール部



ソフトボール部(相模中戦)



女子バスケットボール部

座間警察署長さんの手紙

皆さん、「特殊詐欺」という犯罪について聞いたことがありますか？特殊詐欺とは、皆さんのおじいさんやおばあさんの家にもその電話を掛け、お金をだまし取る犯罪です。皆さんが生まれる前からある犯罪ですが、今年に入ってから全国的に増えてきています。座間でも大変多くなってきていて、1月1日からの6か月間で23件、前の年と比べプラス11件、だまし取られてしまった金額も約3300万円、前の年と比べてプラス1900万円となっています。大変なお金ですね。

特殊詐欺の被害者は、そのほとんどが、60歳以上のお年寄りです。皆さんのおじいさんやおばあさんたちが狙われているのです。だまし取られたお金は、おじいさんやおばあさんが何十年もかけて一生懸命働いてためた大切なものです。

おじいさんやおばあさんの家に遊びに行く人もいます。もし遊びに行く機会があったら、おじいさんやおばあさんが特殊詐欺の被害に遭わないよう、これから説明する特殊詐欺のお話をしてあげてください。

一つ目は「オレオレ詐欺」という手口についてです。聞いたことがある人もいるかもしれません。

最初、息子や孫を名乗る犯人から、次のような電話が掛かってきます。「会社のお金が入ったカバンを落としてしまった！今日中にお金があるんだけどお母さん、何とかならない？」電話を受けた、皆さんのおじいさんやおばあさんは、どう感じますか？被害に遭ったおじいさんやおばあさんから話を聞いてみると「家族を助けてあげたい。何とかしなくては。」「早くお金を用意しなければならない。」と思ったそうです。

皆さんの中には、「声でわかるんじゃないのかなあ？」と思う人もいますが、犯人は「風邪をひいて、喉の調子が悪い」などと、うそをついてだましてきます。こんな電話が掛かってきたらそれは「オレオレ詐欺」です。おじいさんやおばあさんに今度、会ったときに「それは詐欺だよ！」と教えてあげましょう。あと、家族にお金を渡さなければならない場合は、直接会って手渡すことも教えてあげてください。知らない人にお金を渡してはいけません。

2つ目は、「還付金詐欺」という手口についてです。難しい言葉ですね。

この場合は市役所の職員を名乗る犯人から、次のような電話が掛かってきます。「座間市役所の佐藤といいます。市役所のミスで年金を支払うのを忘れてしまいました。今すぐ受け取るための手続きを行ってください。」「年金」とは、年を取って働くことができなくなったおじいさんやおばあさんがもらえるお小遣いのようなものです。年金がないとごはんを食べたり、皆さんにオモチャを買ったりすることはできなくなってしまいます。大変なことですね。そして、犯人は「今日中に手続きを済ませれば年金を受け取ることができます。今すぐ、近くのATMに携帯電話を持って向かってください。着いたら操作方法を説明するので、私が言ったとおりにボタンを押してください。」と指示をします。年金が受け取れないかもしれないと不安になっているおじいさんやおばあさんは、犯人に言われるがままATMを操作してしまいます。操作を終え、年金を受け取れたと安心したおじいさんやおばあさんが、通帳を確認するとATMに預けていたお金がだまし取られていることに気が付くのです。

3つ目は、「サポート詐欺」という手口についてです。最初、電話ではなくパソコンに犯人から連絡が来ます。パソコンでインターネットを見ていると、突然、ウイルスに感染したかのようなその画面が表示されます。その画面には、本当に存在するソフトウェアの会社などを勝手に名乗り「ウイルスが見つかりました。至急、サポートセンターに連絡してください。」などと警告文と一緒にサポートセンターの電話番号が表示されます。パソコンの画面に表示されている電話番号は当然うそで、犯人のもので、この番号に掛けてしまうとサポーターセンターのふりをした犯人から「今すぐにパソコンを直さないと大変なことになります。支払は、コンビニに売っているプリペイド型の電子マネーでお願いします。購入したら裏に書いてある番号を教えてください。」などと言われ、指示通り番号を教えてしまうと、高額なお金をだまし取られてしまいます。プリペイド型の電子マネーの裏に書いてある番号は、その番号だけで買物ができてしまう大変便利なものです。ですから知らない人に絶対に教えてはいけません。インターネットを使っていてこのような画面が表示されたらそれは「サポート詐欺」です。このようなときは、犯人に電話をする前に近くの警察署に相談するよう教えてあげましょう。

警察では、特殊詐欺の犯人を一人でも多く捕まえるために一生懸命頑張っていますが、被害を一件でも減らすためには皆さんの力が必要です。私たち警察は、皆さんの勇気ある行動に期待しています。